

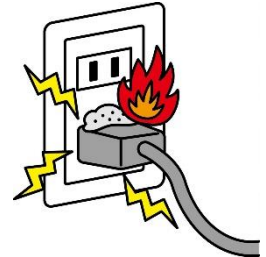
年末の大掃除で火災を予防しよう！

コンセント付近の掃除

大掃除の際に、家具や家電等の裏側を見て、ホコリの多さに驚いた方も多いのではないでしょうか？このホコリが火災を引き起こす原因になります。

火災とホコリ、あまり関係がないように思われるかもしれませんが、「トラッキング現象」という言葉を聞いたことがありますか？トラッキング現象とはコンセントとプラグの間にホコリが溜まり、そのホコリに湿気などの水分が付着し、電気が流れて出火するという現象です。このトラッキング現象を防ぐためにも、ホコリを掃除してトラッキング現象を防ぎましょう！

また、延長コードを使用されている方は大掃除の時にコードの劣化も確認してください。劣化したコードも火災の原因となりますので、古くなったコードは新しいものに交換しましょう！



コンロ周りの清掃

コンロ周りの油污はなかなか落ちなくて年末の大掃除で大変苦勞しますが、油污を放置してしまうと、コンロの火が油污に引火して火災になってしまふことがあります。

また、コンロ周りが整理整頓されていないと、コンロの火が周りのものに燃え移る危険性があるので、きれいに片付けて整理整頓しましょう！



住宅用火災警報器の掃除及び点検

大掃除の時には天井に取り付けられている照明器具もきれいにされるかと思ひます。その際に住宅用火災警報器も清掃・点検し取替えを検討しましょう。

住宅用火災警報器は煙や熱を感知して火災を知らせてくれる機器です。ほこりや汚れが付着していると正常に作動しない可能性がありますので、清掃をお願いします。

また、住宅用火災警報器が正常に作動するかも点検してみましよう！10年以上経過した住宅用火災警報器については、電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感知しなくなるので、10年を目安に交換しましょう！



大掃除で出るゴミは要注意

家の外にゴミ等の燃えやすいものを放置してしまうと、放火犯にとっては放火がとてもしやすい家になってしまいます。逆に家の周囲が整理され、燃えやすいものを置いていなければ放火犯は放火することが難しくなります。

皆さんも大掃除で出たゴミは家の外に置かず、必ずゴミの収集日の朝に出すようにしましょう！

